



ごみ収集に関する配布チラシ ご覧になりましたか？



もやせるごみ



もやせないにみ



プラスチック

鶴嶺東地区まちぢから協議会・環境安全部会では2023年4月と2024年3月にごみ収集に関するマナー啓発チラシを配布いたしました。ご覧いただけましたでしょうか？間違った分別をしていることでごみが回収されず、**悪臭の原因**になったり、**余計な税金**がかかったり悪循環になります。

今後も引き続き啓発チラシを配布いたしますので今一度、目を通してご確認お願いいたします。

「資源物収集」で見かける、まちがえやすいもの

- 廃食用油は… 
- △ スクリュー・キャップでしっかりと栓がされてないと、運搬中にこぼれ、車両や施設、設備に悪影響を及ぼします。
- 
 食べ残しが入ったまま、あるいは、
汚れたままのプラス容器は…

 「燃やせるごみ」の日へ。
- △ 寒川広域リサイクルセンターの設備や
選別作業に支障を来します。
- △ 食べ残しは、カラスが狙ってます。
- ふとんは… 
 「大型ごみ（予約・有料）」へ
- △ 「衣類・布類」ではありません。
ただし指定袋に入るのは「燃やせるごみ」とします。
ちなみに…

カーペット、じゅうたん	1巻を超えるもの 大型ごみ (予約・有料)	1巻以下のもの 燃やせるごみ
毛布、シーツ	汚れていたもの 衣類・布類	汚れているもの 燃やせるごみ

QRコード
ごみと資源物の分け方・出し方

QRコード
ごみや資源物の出し方を、手写メモで共有することができる。

QRコード
ごみ有料化等の内容（市民向け）

2023年4月発行

間違えやすいごみ

- スプレー缶は穴をあけて缶類に
 - カセットコンロは50cm以下でも特定粗大ごみに
 - ライター類は使い切ってから燃やせるごみに
 - 汚れているプラ容器は燃やせるごみに

正しく出して、みんなが「気持ちいい」集積場所！

「ごみの分け方・出し方」を教えてもらおうと、どうやって出したらよいかよくわからない…。まちがってごみや資源物を出してしまうと、その処理に手間がかかり、ごみの集積場所が混雑となったりしてしまいます。

そういうことでから、「ごみの分け方・出し方」を見ても理解に迷ってしまうことをわかりやすく説明してみました。一人ひとりの正しい分別や排出が、みんなの「気持ちいい」につながります。

「布団・こたつ布団など」で出し方をまちがえやすいもの

布団

座布団

こたつ布団

ベッドパッド

○指定袋に入る場合 ➡ 燃やせるごみ

○指定袋に入らない場合は ➡ 大型ごみ

※ 指定袋に入らない布団、座布団、こたつ布団、ベッドパッドのいずれか 3 枚を 1 点として出します。

※ 大型ごみの料金 (0467-86-6833)
電話受付時間: 9時~17時

※ 電話番号 (0467-86-6833)

※ 計算料金 (700 円・スケベ、コンビニ等
での購入) を始めて予約した収集日に出して
ください。

これからも、市民と地域（自治会）と市が協働して
“気持ちいい まち”づくり

※ 裏面あります

鶴ヶ島地区まちから協議会・茅ヶ崎市環境事業センター

第2弾(2024年3月)

2024年3月発行

布団などの出し方

黄色い指定袋に入る場合は燃
やせるごみに

靴の出し方

左右が揃っていて汚れたり壊れたりしていないリサイクルできるものは衣類・布類へ

子どもを見守る活動を今後も継続してまいります

「地域の子どもは地域で守る・育む、地域も子どもと共に育つ」を理念とし、鶴嶺東地区まちぢから協議会は全部会一丸となって「子どもを見守る活動」を継続してまいります。

この活動が始まった令和3年度は、鶴嶺地区の通学路危険個所を調査し、報告書にまとめました。翌年には市民集会のテーマとして「子どもの見守り」について取り上げ、混雑する通学路の歩行者信号延長（写真②）や、死角を作り出す電柱の移設（写真③）、スクールゾーン標示の敷設（写真④）を市に対しても要望し、危険個所の改善につなげました。

この事業は市の認定コミュニティ特定事業として認められ、助成金を得ることができました。愛らしいデザインの見守り旗の作成（写真①）、学校があることをアピールする看板の設置（写真⑤）に役立てられました。



講演会『フレイルの基礎知識』

9月13日（金）鶴嶺東コミュニティセンターで、鶴嶺東地区まち

ぢから協議会主催の健康講演会『フレイルの基礎知識』が行われました。講師は保健師の農澤さん（茅ヶ崎市役所高齢福祉課）で、フレイルの基礎知識、簡易チェック、予防方法について講演していただきました。フレイルとは「年をとつて体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態」のことです。そのまま放置すると要介護状態になる可能性がありますが、

早く気付いて適切な取組を行えば、進行を防ぎ、元の健康な状態に戻ることができます。

フレイル予防のひとつに「社会参加」があります。いつもでも元気な高齢期を過ごすために、ボランティアや茶話会などの地域活動に参加することは大切な取組と言えます。

フレイル予防の3つのポイント

フレイル予防の3つのポイントは、食事の改善、身体活動、社会参加です。

- 栄養**: 食事の改善。食事は活力の源です。バランスのとれた食事を3食しっかりとりましょう。また、お口の健康（口腔ケア）にも気を配りましょう。
- 身体活動**: ウォーキング・ストレッチなど。身体活動は筋肉の発達だけでなく食欲や心の健康にも影響します。今より10分多く体を動かしましょう。
- 社会参加**: 趣味・ボランティア・就労など。趣味やボランティアなどで外出することはフレイル予防に有効です。自分で合った活動を見つめましょう。



コロナ明け初の賀詞交歓会

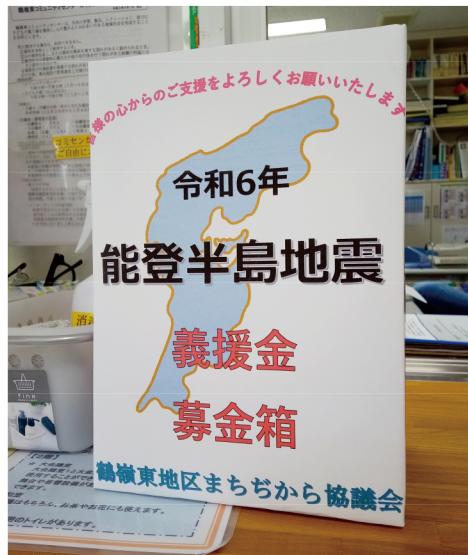


新年のご挨拶をする佐藤市長

令和6年1月6日に鶴嶺東コミニティセンターで4年ぶりに開催されました。佐藤茅ヶ崎市長をはじめ、多くのご来賓にご出席いただきました。

日頃、地区内で活動している団体の方々およそ百人の皆様が新春を祝い、新年の一層の活動を誓いました。

能登半島地震災害義援金



鶴嶺東コミニセンに設置された募金箱

新年のご挨拶をする佐藤市長

令和6年能登半島地震で被災された皆さまならびにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

鶴嶺東地区まちぢから協議会では、3月まで義援金の受付を行いました。皆様よりお寄せいただきました義援金は、総額8623円となりましたのでご報告いたします。お預かりした義援金は茅ヶ崎市と日本赤十字社を経由し被災地都道府県に設置される災害義援金配分委員会を通じて、全額が被災者に配分されます。ご協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。

なお、茅ヶ崎市役所、図書館、各公民館、小出支所は12月27日まで募金箱が設置されています。日本赤十字社へ直接ご寄附いただくことも可能ですが、引き続き皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

令和6年度 鶴嶺東地区まちぢから協議会 役員・部会長名簿

会長	吉野 浩二	鶴嶺東地区自治会連合会副会長
副会長	木下 操	鶴嶺東地区民生委員児童委員協議会会长
副会長・会計	木村 敏夫	鶴嶺東地区社会福祉協議会会长
副会長	尾坂 清	鶴嶺東コミニティセンター長
書記	内藤 一夫	鶴嶺東地区自治会連合会会长
書記・地域福祉部会長	山上 壽子	鶴嶺小学校区青少年育成推進協議会会长
防災減災部会長	石井 浩	西久保自治会防災リーダー
環境安全部会長	岡 宏樹	ライオンズ茅ヶ崎 ザ・アイランズ自治会副会長
広報部会長	西江園 裕子	ホームタウン茅ヶ崎自治会
監査	吉原 雄	ライオンズ茅ヶ崎 ザ・アイランズ自治会会长
監査	赤羽根 昭夫	鶴嶺地区体育振興会会长

鶴嶺東地区 合同防災訓練

鶴嶺東地区まちぢから協議会
防災減災部会 部会長
石井 浩

いざという時に不安のないように参加しませんか？

鶴嶺東地区の全自治会が合同で防災訓練を行います。

地域住民の皆様に、体験して頂く訓練を盛り込んで実施する予定です。

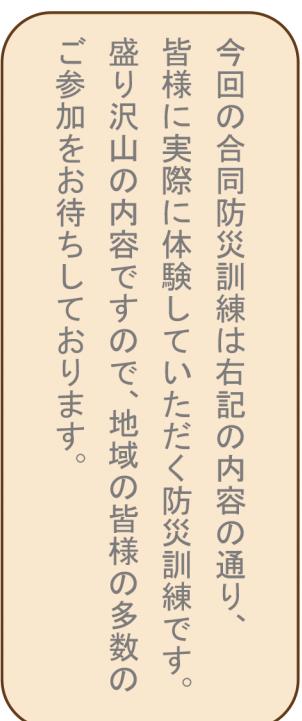
■期日 ■10月26日(土) 9時～12時

■場所 ■鶴嶺中学校

● 住所 茅ヶ崎市浜之郷500

■訓練内容 ■

- ①自治会ごとの安否確認訓練（避難行動要支援者含む）
- ②情報伝達訓練（安否確認結果を無線機で避難所へ連絡）
- ③起震車を用いた巨大地震の疑似体験訓練
- ④スマートマシンを使用した火災発生時の避難訓練
- ⑤訓練用消火器を用いた消火訓練
- ⑥要支援者の搬送訓練



鶴嶺東地区
まちぢから協議会の
HPはこちらから

鶴嶺東地区まちぢから協議会

ホームページ 福祉部会 福祉安全 市場振興会 市民会議会 青少年部会 運動部会 まちぢから 協議会 防災委員会 自治会連合会 コミュニティセンター 総務 社会奉仕

鶴嶺東コミュニティセンター

鶴嶺東まちぢから



鶴嶺東地区
まちぢから協議会
の最新情報を
ご覧いただけます

茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会

トップページで鶴嶺東地区をクリック

<https://chigasaki-machiren.org/>

AED講習会開催 大好評でした

9月7日(土)鶴嶺東コミュニティセンターで鶴嶺東地区自主防災会主催による

『救急法 短期講習』が実施されました。日本赤十字社神奈川県支部から2名のボランティア指導員の方々に

お越しいただき、各自治会から参加した21名が受講しました。心肺蘇生法やAEDについて説明を受けた後、グループに分かれ、訓練用の人形を使った胸部圧迫や人工呼吸、AED使用を体験しました。指導員の方が実際に遭遇した救護の体験談や、この講習を受けた方がAEDを使用するような場面に遭遇したとき「実際に行動できる人になつて欲しい」というお話しもありました。1人でも多くの人が応急手当ができるようにしておくことが大切です。



鶴嶺東地区をみんなで助け合える地域に

自治会やイベントの手伝い、見守り活動など人手が足りません。
少しの時間でもいいのでお手伝いをお願いできませんか？